

# リケンテクノスグループ概要

## ▶ 会社概要 (2017年3月31日現在)

社名 リケンテクノス株式会社  
 設立年月日 1951年(昭和26年)3月30日  
 資本金 85億14百万円  
 代表者 代表取締役 社長執行役員 常盤 和明  
 従業員数 連結 1,825名 単体 662名  
 本社所在地 東京都千代田区神田淡路町二丁目101番地  
 ワテラストワー

## ▶ 事業内容

リケンテクノスは創業以来培われてきた合成樹脂加工に係わる総合的な技術をベースに「コンパウンド事業」「フィルム事業」「食品包材事業」の3事業を柱に国内外で事業を展開しています。経営理念「リケンテクノス ウェイ」のもと、「科学の力のチャレンジメーカー」として、多様化・高度化するお客様や社会のニーズに適合した高品質な製品・技術を提供しています。

### コンパウンド事業

コンパウンドとは、ベースの樹脂に添加剤を何種類か混ぜ合わせ、新しい性質を持たせた複合材料で、主に押出成形や射出成形に使われる素材です。

#### ● 主要製品

塩化ビニルコンパウンド、熱可塑性エラストマー、導電性コンパウンド、制電性コンパウンド、バイオマスコンパウンドなど

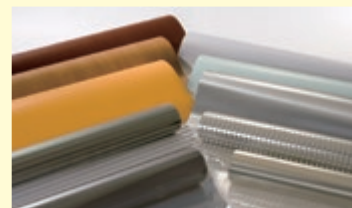


### フィルム事業

配合した樹脂の特性に適した製法で高品質のフィルム製膜を行っています。また、複数のフィルムを貼り合わせたり、表面に機能性塗料をコートすることによって意匠性や機能性を付与したフィルム製品を製造しています。

#### ● 主要製品

建築内装用化粧シート、鋼板用フィルム、ポリエステル樹脂系フィルム、IRカットフィルム、ウィンドウ用装飾フィルム、光学用フィルムなど



### 食品包材事業

日本で初めて塩化ビニル樹脂のラップを開発したパイオニア2社が事業統合し、家庭用から業務用まで、幅広い包装用途に最適の品質・性能を追求した製品を開発し市場に提供しています。

#### ● 主要製品

塩化ビニルラップ、オレフィン系ラップなど



## ▶ 業績

2016年度(2017年3月期)のわが国経済は緩やかな回復傾向となり、海外においては不確実性があるものの概ね景気持ち直しの動きが見られました。このような環境下、リケンテクノスグループはグローバルな視点で顧客ニーズを確実に捉え、受注につなげることで業績の向上に努めました。その結果、連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高となりました。

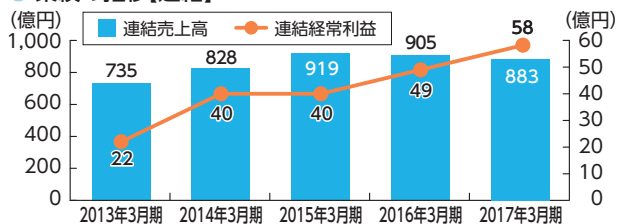
### ● 2017年3月期 業績

(単位:億円)

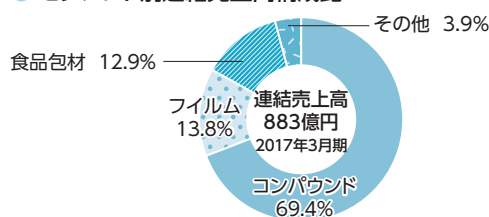
	連結	単体
売上高	883	379
営業利益	58	10
経常利益	58	24
当期純利益	27*	20

\*親会社株主に帰属する当期純利益

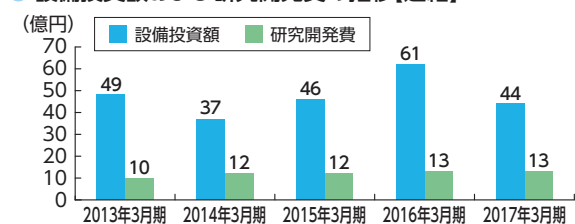
● 業績の推移【連結】



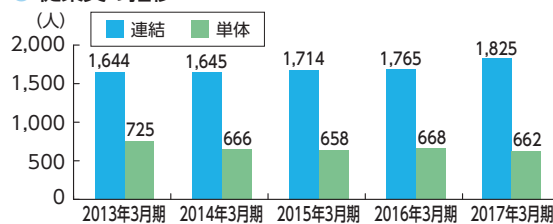
● セグメント別連結売上高構成比



● 設備投資額および研究開発費の推移【連結】



● 従業員の推移



▶ 中期経営計画

リケンテクノスグループは、2016年4月より3か年中期経営計画「ACT NOW! ACT TOGETHER! 2018」を始動させ、すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指してまいります。世界経済が不透明で予測困難となっている中、各課題を確実に解決していくことで、目標を達成してまいります。

● 経営方針

ACT NOW! ACT TOGETHER! 2018

～すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指して～



個々の力を集結し、パワーを凝縮させながらさらなる高み、ひとつ先の未来へ、素早くかつ優れたパフォーマンスをもって進んでいく様を表現しています。

● 計数目標

	2019年3月期(最終年度)目標
連結売上高	1,100億円
連結営業利益	80億円
連結経常利益	80億円
連結当期純利益	45億円

● 経営目標

	ROS 売上高 営業利益率	ROA 総資産 経常利益率	ROE 株主資本 純利益率
2019年3月期 (最終年度)目標	7%	10%	8%

● 主要課題

① 全事業のグローバル経営の深化

重点市場である自動車または医療ヘルスケア市場に対応するため、新設および増設したベトナム国・中国・米国でのコンパウンド製造工場が稼働開始しました。さらに、タイ国及びインドネシア国のコンパウンド工場の増設を決定しました。米国においては持株会社を設立し、販売体制を整えました。今後はより効率的なグローバル展開を進めてまいります。

② 収益力・財務体質の強化

海外での投資設備を活用し早期に稼働率を上げることと、各本部および内外各拠点の連携を高めることにより収益力の強化につなげ、ROS・ROA・ROEの改善を進めてまいります。

③ 革新的な生産体制の創造

品質面、コスト面および安定供給面を格段に向上させることで競合他社との更なる差別化を図り、より高い競争力をもってグローバルで戦える体制を構築してまいります。

④ 光学分野における事業化の確立

独自の製膜加工技術と配合技術の融合によるオリジナリティを活かした未来製品の創出を行っており、大手家電メーカーを含むいくつかのモバイル関連アイテムでの販売を開始しました。今後は、量産性改善、他分野への展開等により、売上および収益改善に努めてまいります。

⑤ 戦略的な人材育成による企業基盤の強化

「人事制度の見直し」、「働き方改革の取り組み」および「積極的なポストチャレンジ」等により、活力のある組織風土の醸成を目指してまいります。